

富士フィルム
「新聞用完全無処理CTPプレート」今夏発売へ
新聞印刷の最新ニーズに応える“究極の省資源ソリューション”

平成27年4月24日

富士フィルム株式会社(社長:中嶋 成博)は、国内初となる新聞印刷向け完全無処理サーマルCTPプレートを、平成27年7月中旬より、富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社(社長:渥美 守弘)を通じて発売いたします。本製品は、富士フィルムが新聞用サーマルネガプレートの開発で長年培ってきた独自技術をベースに、商業印刷向け完全無処理サーマルCTPプレート『XZ-R』で実績のある「界面制御技術」などを活用し、オフセット分野向け省資源ソリューションの新ブランド『FUJIFILM SUPERIA』のラインアップとして開発を進めてきたものです。新聞社から要望の高かった「完全無処理CTPプレート」を、他社に先駆けて商品化・市場導入することで、新聞製作における環境負荷低減、生産効率向上を強力にサポートしていきます。

昨今、新聞印刷においては、高い紙面品質や生産効率の追求はもちろん、社会的要求である環境負荷低減、そしてコスト削減への取り組みが、ますます重要になっています。こうした課題に対し、富士フィルムでは、新聞用CTPシステムにおける「高品質と環境性の両立」を追求したソリューションとして、サーマルネガCTPプレート『HN-NV』、自動現像機ロングライフ化キット『LL-6KIT』、廃液削減装置『XR-2000/5000』などから成る『ECONEX NEWS SYSTEM』を提供してきました。中でも『HN-NV』は、「アブレーションフリー」「優れた印刷適性(耐刷力、水を絞った際の汚れにくさ、版エッジの汚れにくさ)」「信頼性」などの点で高く評価され、国内トップの導入実績を有しています。

一方、商業印刷分野では、資材や工数などのムダをなくし、コスト削減・生産性向上を図り、企業全体の利益アップにつなげていく省資源ソリューションの中で、全方位的な省資源効果を発揮するシステムとして完全無処理CTPプレート『XZ-R』をラインアップ。優れた品質と抜群の環境性を両立させた総合性能が評価され、国内約450社、ワールドワイドで約3,000社に導入されています。

今回新たに発表する新聞用無処理プレートは、富士フィルムがこれらのソリューションで培ってきた知見や評価技術を活かしながら、『ECONEX NEWS SYSTEM』の環境性をさらに追求し、新聞印刷向けの“究極の省資源ソリューション”として開発を進めてきたもので、当社が提唱する“5つの省資源”、すなわち「省材料」(用紙やインキなどの資材の削減)、「省工数」(工程短縮・時間短縮による短納期対応)、「省エネルギー」(電気やガスの使用量削減)、「省排出」(薬品廃液やVOCなどの排出量削減)、「省ウォーター」(水使用量の削減)のすべてに貢献します。

技術面では、『HN-NV』で採用した高速重合技術および砂目技術「MGV」、エッジ裁断技術と、『XZ-R』で実績のある界面制御技術を高い次元で融合させることにより、露光後にガム現像などの処理を一切必要としない「完全無処理」と、新聞印刷に求められる「高耐刷力」、そして、印刷資材に左右されない「優れた刷り出し安定性」を同時に実現しているのが特長です。

本製品の製造は、国内の刷版生産拠点である吉田南工場(静岡県榛原郡)で行なう予定です。高度

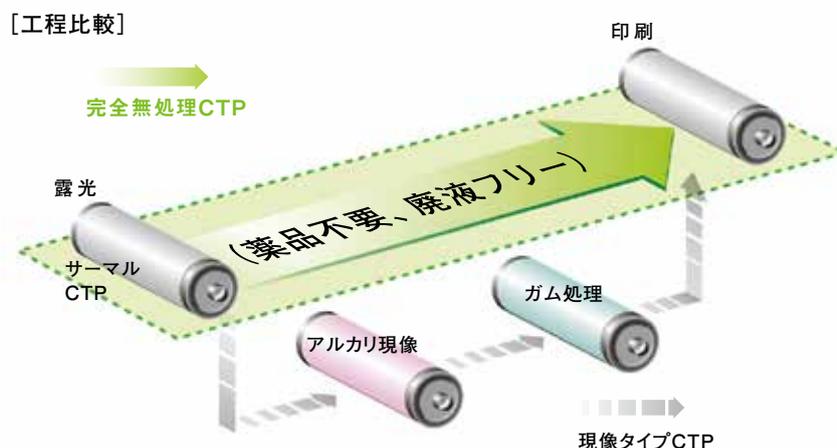
に管理された最先端の製造ラインにより、高品質プレートの安定供給を実現します。

富士フィルムは、平成27年4月より、商業・出版印刷を中心とするオフセット印刷業界向けにコーポレートスローガン『Value from Innovation』を具現化するソリューションの一つとして、CTP・印刷工程の省資源をサポートする新ブランド『FUJIFILM SUPERIA』をワールドワイドで提供開始しました。新聞分野に対しても、従来からの環境対応CTPシステムに加え、新たに完全無処理プレートをラインアップすることで、市場に合わせたより幅広い「省資源」ソリューションを提供し、環境負荷削減・利益向上に貢献してまいります。

【新聞用完全無処理CTPプレートの主な特長】

●処理工程が一切不要

露光後にガム現像などの処理工程を一切必要としない「完全無処理」のため、処理システムおよび薬品のコスト、メンテナンスの作業負荷やコストが削減でき、工程短縮、省スペース化も実現。



●『HN-NV』と同等の刷り出し性・耐汚れ性

印刷資材に左右されず、印刷機でのスピーディーな機上現像を実現。従来の有処理プレートと同等の印刷立ち上がり・耐汚れ性を発揮。

●万全のロングラン性能

富士フィルム独自の高速重合技術により、高品位な画像形成と従来プレート同等の万全のロングラン性能を実現。また、アブレーションフリーのため感光層の飛散がなく、CTPセッターなどの光学機器汚染の心配が不要。

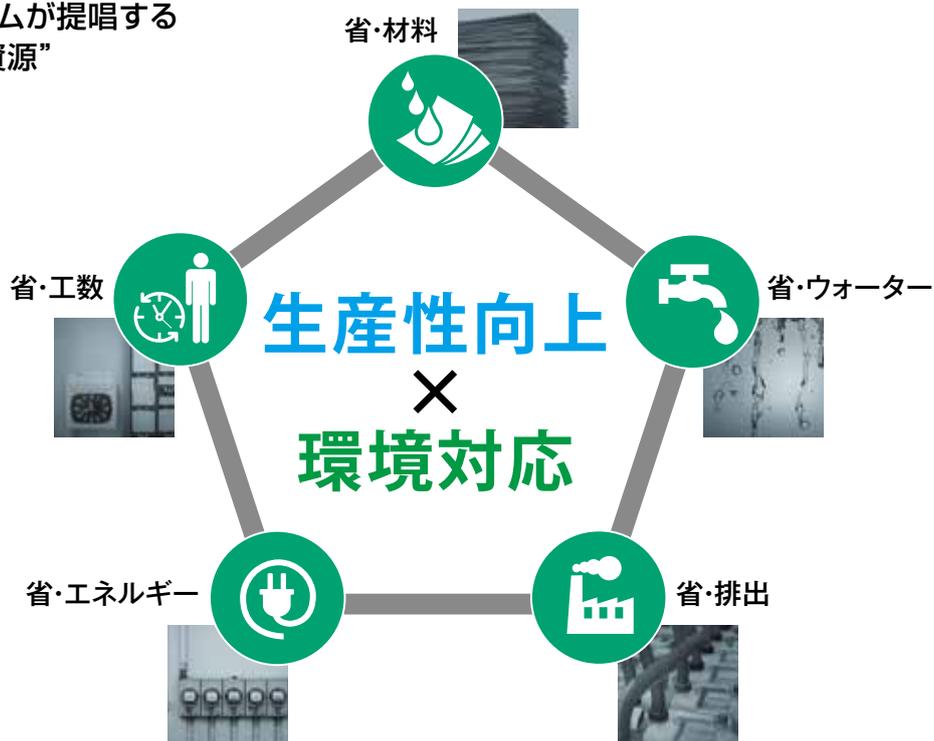
●優れた印刷適性

支持体表面処理技術の一つの理想形として定評のある「MGV砂目」をベースに、親水性をさらに向上させたことで、「水を絞った際の汚れにくさ」等、優れた印刷適性を発揮。

●エッジ汚れを抑制

製造ラインにおける超精密エッジ裁断技術により、プレートの端部にインキが付着する「エッジ汚れ」の発生を抑制。

富士フィルムが提唱する
“5つの省資源”



富士フィルムは今後も、印刷製版機材のリーディングカンパニーとして、オフセット印刷向けCTP版／PS版、印刷薬品、ワークフローソフトウェア、プレートセッターなど、多様な印刷関連商品群の開発・生産・販売をワールドワイドに展開し、新聞業界・印刷業界の発展に貢献してまいります。

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社 広報宣伝部

所在地：〒106-0031 東京都港区西麻布2-26-30 富士フィルム西麻布ビル

TEL : 03-6419-0380

FAX : 03-6419-9896

インターネットホームページアドレス：<http://ffgs.fujifilm.co.jp/>